

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																									
仙台総合ペット専門学校		昭和58年10月22日		菅原 一博		〒 980-0014 (住所) 宮城県仙台市青葉区本町2-11-20 (電話) 022-221-2877																																									
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																									
学校法人 菅原学園		昭和35年3月26日		理事長 菅原 一博		〒 980-0014 (住所) 宮城県仙台市青葉区2丁目11-20 (電話) 022-221-1112																																									
分野		認定課程名		認定学科名		専門士認定年度		高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度																																					
文化・教養		文化教養専門課程		動物衛生看護科		平成19(2007)年度		-		平成27(2015)年度																																					
学科の目的		人と動物が調和して暮らせる社会の実現を目指す、動物の愛護と福祉の精神を持ち、身体の構造や機能、疾病の成り立ちと回復に必要な動物医療、看護に関する高度な知識と技術を身に付けた人材の育成を目指す。また、思いやりの気持ちを持ち、動物、飼い主様に寄り添うことのできる動物看護師、そして動物医療の現場のみならず、社会人として求められるマナー、挨拶、コミュニケーション能力を備えた人材の育成も目的とする。																																													
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		【取得可能資格】 愛玩動物看護師、愛玩動物飼養管理士、ビジネス能力検定、損害保険募集人資格、文書処理能力検定(ワープロ・表計算) 【中退率】 7%																																													
修業年限		昼夜		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習		実験		実技																																	
2年		昼間		※単位数時間、単位いずれかに記入 2,737 単位数時間 単位		1,819 単位数時間 単位		単位時間 単位		918 単位数時間 単位		- 単位数時間 単位		- 単位数時間 単位																																	
生徒総定員		生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)																																									
60人		97人		0人		0%																																									
就職等の状況		<table border="1"> <tr><td>■卒業者数(C)</td><td>:</td><td>34</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数(D)</td><td>:</td><td>33</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数(E)</td><td>:</td><td>31</td><td>人</td></tr> <tr><td>■地元就職者数(F)</td><td>:</td><td>15</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率(E/D)</td><td>:</td><td>94</td><td>%</td></tr> <tr><td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)</td><td>:</td><td>48</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C)</td><td>:</td><td>91</td><td>%</td></tr> <tr><td>■進学者数</td><td>:</td><td>0</td><td>人</td></tr> <tr><td>■その他</td><td>:</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>病気療養 1名 (令和4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 動物病院、ペットショップ</p>										■卒業者数(C)	:	34	人	■就職希望者数(D)	:	33	人	■就職者数(E)	:	31	人	■地元就職者数(F)	:	15	人	■就職率(E/D)	:	94	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	48	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	91	%	■進学者数	:	0	人	■その他	:		
■卒業者数(C)	:	34	人																																												
■就職希望者数(D)	:	33	人																																												
■就職者数(E)	:	31	人																																												
■地元就職者数(F)	:	15	人																																												
■就職率(E/D)	:	94	%																																												
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	48	%																																												
■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	91	%																																												
■進学者数	:	0	人																																												
■その他	:																																														
第三者による学校評価		<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 無</p> <p>※有る場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体: - 受審年月: - 評価結果を掲載したホームページURL: -</p>																																													
当該学科のホームページURL		https://www.sugawara.ac.jp/pet/																																													
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)		<p>(A: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>2,737 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>204 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>2,737 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>204 単位数時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位数時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>0 単位数時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位</td></tr> </table>										総授業時数	2,737 単位数時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	204 単位数時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数時間	うち必修授業時数	2,737 単位数時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	204 単位数時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位数時間	総授業時数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位	うち必修授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位								
総授業時数	2,737 単位数時間																																														
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	204 単位数時間																																														
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位数時間																																														
うち必修授業時数	2,737 単位数時間																																														
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	204 単位数時間																																														
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位数時間																																														
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位数時間																																														
総授業時数	単位																																														
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位																																														
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位																																														
うち必修授業時数	単位																																														
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位																																														
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位																																														
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位																																														
教員の属性(専任教員について記入)		<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5人</td> </tr> </table> <p>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 1人</p>										① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	4人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人	計	5人																								
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	4人																																														
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人																																														
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																														
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																														
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人																																														
計	5人																																														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

関連企業等との連携を図り、業界が求める人材と、学校が取組む人材育成が合致するよう連携をしていく。また、カリキュラムの編成にあたっては、年に2回実施する「教育課程編成委員会」の意見の他、科の教職員が関連分野の企業や卒業生の就業先へ積極的に出向き、現場が求める知識や技術、技能についての情報を収集しカリキュラムの充実を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程(カリキュラム)の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として、教育課程編成委員会として位置付けている。

具体的な活用の流れとしては、学科担任がカリキュラム案を提案、教育課程編成委員会で審議されたのち副校長及び校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会 事務局長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
副島 美穂	ぱれっと動物病院 院長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
渡邊 圭	有限会社 ヨネヤマプランテーション ペットエコ仙台 マネージャー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
石井 あゆみ	アンド・ドッグス株式会社 代表取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
磯村 直樹	株式会社LOVE WALK オーナー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
梅川 明寛	仙台総合ペット専門学校 副校長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
浅野 悟	仙台総合ペット専門学校 教頭	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
菅原 学	仙台総合ペット専門学校 飼育管理科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
千葉 雅司	仙台総合ペット専門学校 ドッグトレーナー科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
木村 拓史	仙台総合ペット専門学校 動物衛生看護科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
佐藤 千穂	仙台総合ペット専門学校 トリマー科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月予定)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年9月29日 15:00～17:00

第2回 令和6年2月開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

新型コロナウイルスの影響もあるなか、感染対策を徹底し現場での病院実習を行えたことは学生の職業選択の参考になっていると思う。また、今後は動物看護師の国家資格化に向け、よりいっそう、現在の認定動物看護師資格の取得率向上が図られるよう講師と連携をとり、学生の学習到達状況の確認ができる体制を整える必要がある。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界から求められる人材の育成を基本に、専任教員と連携企業より派遣される講師が密接な連携を図り、実習授業を通し業界で求められる技術、知識、技能を習得した即戦力を育成する。

企業が求める技術とコミュニケーション能力の優れた学生の育成という観点から、学生の技術やコミュニケーション能力について、その習熟度を教員と講師が筆記・実技試験を通してともに確認をし、業界が求める水準までの学習方法について検討・改善を行い、効果的な教材や指導方法を研究開拓する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

仙台市内の動物病院と教育協定を結び、1・2年次に動物病院での現場実習を行う。校内で学んだ専門知識と技術を活かすとともに、実践力とコミュニケーション能力を養成し、また、今後の課題を見出す機会を設けている。加えて、獣医療現場で実習を行うことで、専門職に携わるとい意識の涵養と、社会人・新人スタッフとしての心構えを身に付ける。指導及び評価については、教育協定先の病院長や動物看護師からいただく。なお、実習記録として作業内容や注意点、指導いただいた内容などについて学生は報告書を作成し、実習先の動物病院と学校へ提出をする。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物看護総合実習	診療現場での臨床経験から、より実践的な看護と専門職としての意識を身に付ける。	伊達の街どうぶつ病院 ぱれっと動物病院 パル動物病院 ひまわり動物病院
動物福祉・倫理	動物看護師には、動物医療、動物看護についてはもちろん、その他動物に関連する様々な知識の習得が求められている。そのため、多種多様な企業の現場での経験から、動物に関わる職種について実践的に学習する。	仙台市動物管理センター

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

職務に必要な実践的かつ専門的知識、技術及び技能習得と、広い視野の涵養を図り、優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。また、教職員の意識向上を図り、自己啓発を促進することを目的として行う。

なお、現在は「学園規定集」における「教育研修規定」を設けて運用している。

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

職務に必要な実践的かつ専門的知識、技術及び技能習得と、広い視野の涵養を図り、優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。また、教職員の意識向上を図り、自己啓発を促進することを目的として行う。

なお、現在は「学園規定集」における「教育研修規定」を設けて運用している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	動物管理センター研修	連携企業等:	仙台市動物管理センター
期間:	令和4年9月29日(木)・令和4年10月6日(木)	対象:	教員
内容	飼育放棄された動物の現状、動物管理センターの役割などについて。		
研修名:	動物取扱研修	連携企業等:	仙台市 主催
期間:	令和4年11月16日(水)	対象:	教員
内容	動物業界の現状報告と法改正について		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	新任研修	連携企業等:	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和4年7月26日(火)～令和4年7月28日(木)	対象:	教員
内容	新任教員を対象に必要とされる基礎的知識を習得		
研修名:	広報セミナー	連携企業等:	株式会社リクルート
期間:	令和4年8月17日(水)～令和4年8月18日(木)	対象:	教員
内容	学生募集について傾向と対策		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	動物管理センター研修	連携企業等:	仙台市動物管理センター
期間:	令和5年7月6日(木)	対象:	教員
内容	『動物福祉論』の内容をさらに深く理解し、動物愛護の精神を再確認する		
研修名:	日本動物看護学会	連携企業等:	日本動物看護学会
期間:	令和5年9月2日(土)～令和5年9月3日(日)	対象:	教員
内容	動物看護師による講演及び一般演題の聴講		
研修名:	東北地区獣医師大会・令和5年度獣医学術東北地区学会	連携企業等:	公益社団法人 宮城県獣医師会
期間:	令和5年9月22日(金)	対象:	教員
内容	小動物についての講演の聴講		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	入学生に求められる学生指導について	連携企業等:	株式会社進研アド 専門学校事業部
期間:	令和5年7月21日(金)～令和4年7月21日(金)	対象:	教員
内容	入学者数減少と学力低下が専門学校教育に及ぼす影響		
研修名:	新任研修	連携企業等:	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年7月25日(火)～令和4年7月27日(木)	対象:	教員
内容	新任教員を対象に必要とされる基礎的知識を習得		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学生が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受するため、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等々を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と評価する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像 ②学校における職業教育の特色 ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想等
(2) 学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか等
(3) 教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか ②教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか等
(4) 学修成果	①就職率の向上 ②資格取得率の向上等
(5) 学生支援	①進路就職に対する支援体制の整備 ②学生相談に関する体制の整備等
(6) 教育環境	①施設・設備 ②学内外の実習、研修についての教育体制等
(7) 学生の受入れ募集	①学生募集活動等
(8) 財務	①学校の財務基盤 ②予算・収支計画等
(9) 法令等の遵守	①法令の遵守と適切な運営 ②個人情報保護等
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献 ②学生のボランティア活動支援等
(11) 国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

以前から「プロ意識」を持つことが大切というご意見を頂戴していた。本科では1年次より学生一人ひとりが動物病院での臨床実習を行っている。このことで動物看護師(動物の命の現場で働く者)として必要な心構え(プロとしての意識)を獣医師や先輩看護師から学んでいる。しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、十分な経験をさせることが難しい状況であった。今後はWEBなど活用したセミナーなども取り入れていく予定である。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会 事務局長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
副島 美穂	ぱれっと動物病院 院長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
渡邊 圭	有限会社 ヨネヤマプランテーション ペットエコ仙台 マネージャー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
渡辺 和枝	WANder LAND 代表	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
磯村 直樹	株式会社LOVE WALK オーナー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.sugawara.ac.jp/pet/sugawara/professional-practice-course>

公表時期: 令和5年10月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質保証・向上を図るとともに企業等の学校関係者の理解を深め、連携・協力を推進するため、学校の概要をはじめ、教育内容、評価結果等の情報を学生や保護者、関係企業や社会に向けて情報提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校情報の公開(目標、計画)
(2) 各学科等の教育	各科の案内
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	資格取得・就職実績
(5) 様々な教育活動・教育環境	校舎・設備
(6) 学生の生活支援	学生寮
(7) 学生納付金・修学支援	学費について・入学サポート制度について
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者報告
(10) 国際連携の状況	-
(11) その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://www.sugawara.ac.jp/pet/sugawara/schoolinfo>

公表時期: 令和5年10月1日

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 動物衛生看護科)																			
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携			
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	校 内	校 外	専 任	兼 任				
	○			パソコン実習 I	「Microsoft Word」を使用したの文書作成、広告作成をとおして、パソコンの基本操作を習得する。また、文書処理能力検定(ワープロ)の対策にも取り組む。	1・通	68	2			○	○		○					
	○			パソコン実習 II	「Microsoft Excel」の基本操作を身に付け、売り上げ管理、顧客情報管理などに役立てる技術を学ぶ。文書処理能力検定試験(表計算)の対策にも取り組む。	2・前	34	1			○	○		○					
	○			ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナー(一般常識、職務知識、マナー・接遇等)について全般的に学ぶ。また、ビジネス能力検定試験の対策にも取り組む。	1・前	34	2	○								○		
	○			コミュニケーション	ペット業界で求められる仕事への取り組み方や心構え、業界理解と接客に必要なとされるコミュニケーションについてグループワークを交えながら学ぶ。	1・前	34	2	○					○					
	○			キャリアデザイン	将来の仕事イメージするための企業研究、自己理解、インターンシップや就職活動に向けた履歴書の作成方法など、就職活動の基礎について学ぶ。	1・後	34	2	○					○					
	○			キャリアガイダンス	就職試験対策(筆記・面接)に加え、企業選否をする上で必要となる求人票の見方(社会保険・福利厚生)について学ぶ。	2・前	34	2	○					○					
	○			愛玩動物飼養管理	動物関連法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	1・後	34	2	○					○					
	○			グルーミング実習	犬のグルーミングについて学びその技術を身に付ける。	1・通	204	6	○									○	
	○			外科動物看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを体系的に理解する。	2・通	68	4	○					○					
	○			外科動物看護実習 I	外科手術の基本的な流れを理解し、手術準備、麻酔モニタリング、手術助手及び周術期の動物管理を身に付ける。	1・通	68	2	△					○			○		
	○			外科動物看護実習 II	外科動物看護実習 I での実践能力に応用能力を用いて正確性、迅速性を身に付ける。	2・通	68	2	△					○					
	○			公衆衛生学	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	1・通	68	4	○								○		
	○			産業動物学	産業動物の歴史や品種、飼育管理法、および畜産業など社会との関わりについて学ぶ。	2・通	68	4	○					○				○	
	○			実験動物学	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、実験動物との関わりについて学ぶ。	2・前	17	1	○					○				○	
	○			動物医療関連法規	主に獣医療現場及び動物関連の法規について学ぶ。また、その他の関連法規として、社会人で知っておくべき法規についても認識する。	2・後	34	2	○					○				○	
	○			動物医療コミュニケーション	動物病院で必要となるコミュニケーションについて学ぶ。受付対応や電話対応、また獣医療現場で好まれるコミュニケーション方法を身に付ける。	1・通	68	4	△					○				○	
	○			動物看護学概論	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。	1・通	68	4	○					○				○	
	○			動物看護実習 I	診療現場で必要な観察力及び看護方法に関する基本的な技術を身に付ける。動物の扱い方や、医療器具などの扱い方を学ぶ。	1・通	136	4						○				○	
	○			動物看護実習 II	動物看護実習 I での実践能力に応用能力を用いて正確性、迅速性を身に付ける。	2・通	136	4						○				○	
	○			動物看護師認定試験対策	動物看護師統一認定機構主催の認定動物看護師試験の合格を目指し、答案練習や解答解説などを行う。	2・通	68	4	○					○				○	
	○			動物看護総合実習	実際に動物病院を訪れて、その病院施設の中で実習を行う。病院内で様々な症例を見学することで実践力を身に付ける。	2・通	204	6						○				○	
	○			動物感染症学	犬猫が感染する内部寄生虫、外部寄生虫及び微生物について学ぶ。	1・通	102	6	○					○					○
	○			動物形態機能学 I	犬猫を中心にその体の構造、筋骨格系・呼吸器系・消化器系・循環器系・泌尿器系・内分泌系・神経及び感覚器系の機能を理解する。さらに解剖学用語を習得し生命現象を理解する。	1・通	136	8	○					○				○	
	○			動物形態機能学 II	犬猫を中心にその動物の体の構造、筋骨格系・呼吸器系・消化器系・循環器系・泌尿器系・内分泌系・神経及び感覚器系の機能を理解する。さらに解剖学用語を習得し生命現象を理解する。	2・通	68	4	○					○				○	
	○			動物行動学	主に犬猫の発生源、種類による特徴を知り、基本的行動様式から適性飼育と正しいハンドリング及び基本的なしつけを理解する。さらによく見られる問題行動についても学ぶ。	2・前	34	2	○					○					
	○			動物人間関係学	人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動について学ぶ。	2・前	34	2	○					○					
	○			動物繁殖学	主に犬猫の繁殖生理を理解し、性行動、妊娠、分娩及び避妊、去勢の知識を身に付ける。また犬猫以外の動物の繁殖生理の特徴を学ぶ。	2・前	34	2	○					○					

